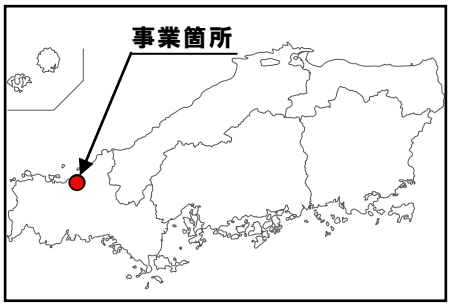
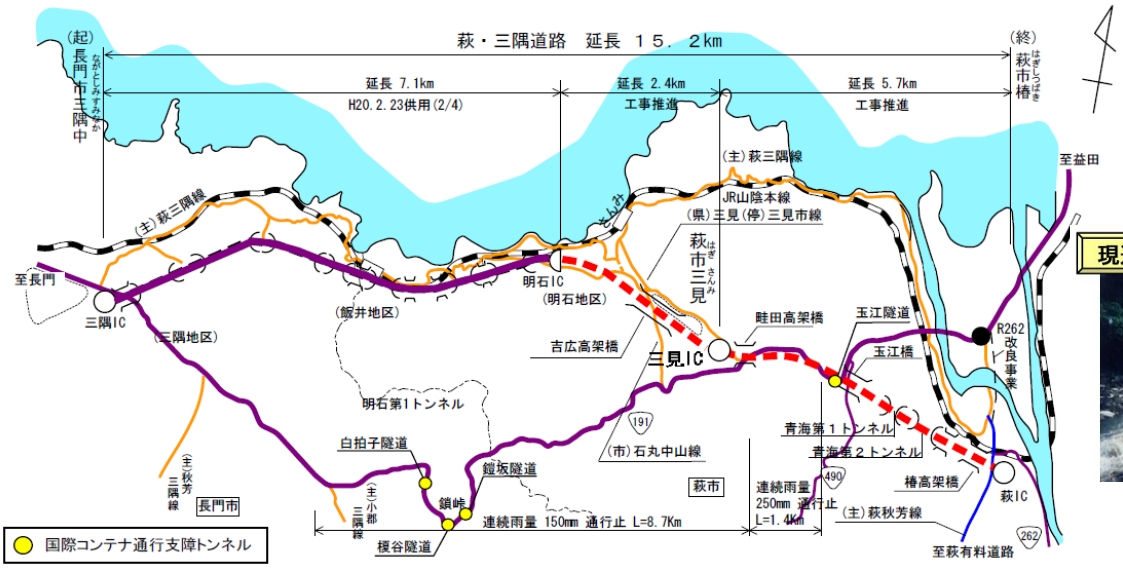
一般国道１９１号　萩（はぎ）・三隅道路（みすみどうろ）

一般国道191号萩・三隅道路は、現道隘路区間の解消及び冬期交通の安全確保を目的とした、山口県長門市三隅中から萩市椿に至る延長15．2kmの道路です。平成19年度までに三隅IC～明石IC間延長7．1kmが開通（2/4車線）しております。

平成21年度は、引き続き明石IC～萩IC間の改良・橋梁・トンネル工事を進めています。





現道状況

●現道（国道191号鎖峠）の災害状況

工事進捗状況

●青海第2トンネル　H21.6撮影

工事進捗状況

●玉江橋（P1橋脚）　H21.7撮影

工事進捗状況

●三見IC付近　H21.7撮影

効果１）『山陰側への所要時間が大幅に短縮』

萩・三隅道路を含む山陰道のネットワークの形成により、大幅な所要時間の短縮が期待されます。

山陰道（萩～下関間）の整備による所要時間の短縮

※資料：国土交通省　山口河川国道事務所

萩・三隅道路の整備による所要時間の短縮

現況	〔国道191号〕	約35分
将来	〔萩・三隅道路　整備後〕	約25分（約10分短縮）

※区間：長門市役所～萩市役所
※現況：H11道路交通センサスピーク時旅行速度を用いて算出。
※将来：萩・三隅道路における走行速度を80km/hとして算出。

効果２）『線形不良区間の回避』

国道191号の現道区間は、線形不良区間が集中している上、異常気象時通行規制区間が存在しています。萩・三隅道路の整備により、線形不良区間等を回避すると共に、代替道路が確保され、信頼性の高い道路網が形成されます。

国道191号の線形不良区間の回避

■平面線形不良区